

3年生はローマ字を履修し、タイピング入力ができるようになりました。そこで、2学期後半より、道徳の授業では毎時間 Chromebook を活用し、自分の意見を書き込んだり、友達と意見交換をしたりしました。最初は入力に時間がかかり、苦労している様子も見られましたが徐々に活動に慣れ、効果的に活用することができました。



学習の流れ

- ① 授業前に自分のクロームブックにログインしておく
- ② 授業前半で、いくつかの発問について考える（クロームブックは用いない）
- ③ 授業後半で、自分の経験を想起し、スクールタクトに入力する
- ④ 共同閲覧モードにして友達の考えについて知る
 - ※他の児童が見てもよい場合のみ
- ⑤ ワードマップを見てクラス全体としてどんな考えが多いのか確認する

Chromebook（スクールタクト）の活用

以前は毎時間プリントを用いていたが、スクールタクトへ移行したことによって大きく2つの利点がありました。一つ目は自分の経験を思い出すのが困難な児童は共同閲覧モードによって、他の児童の様々な経験を知ることができ、価値項目に対して考えをもちやすくなりました。またワードマップを用いることでクラス全体がどんな考えを多く持っているのかを可視化することができました。ただし、他の児童には見られたくない考えを書いている際には共同閲覧モードにはせず、希望者のみの口頭での発表としました。二つ目は児童がどんなことを記述しているのか教員の端末を用いてリアルタイムで確認することができるので、適切な助言・指導をしやすくなりました。



一人ひとりがスクールタクト
に考えを記入します。

多くの児童が書き込んでいる
単語は大きく表示されます

